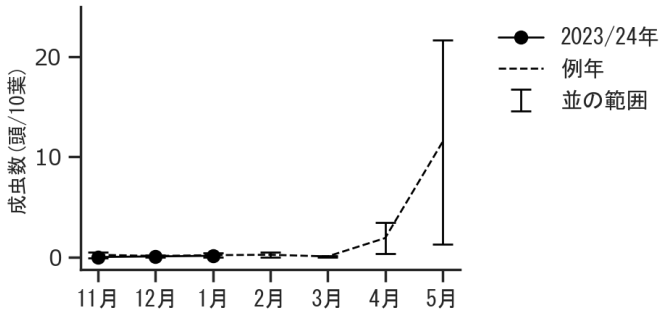
令和　5 年度　　2 月予報

| 作物 | とうがん(施設・立体栽培) | | 地域 | 宮古群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ① ミナミキイロアザミウマ | | | |
| 調査結果 | 1 月の発生量（例年比） | 並 | | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | → | | |
| | 2 月の発生量（例年比） | 並 | | |
| 予報の根拠 | | 例年の発生量の推移（→） | | |

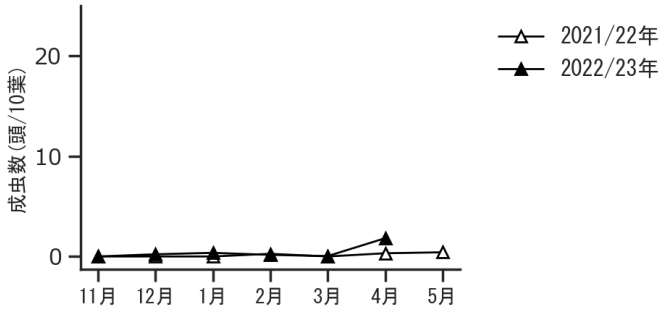
調査結果

成虫数の推移

＜今期と例年＞




＜過去２年＞




・発生施設率60.0%（例年：26.1%）

防除のポイント

・本種はスイカ灰白色斑紋ウイルスを媒介する。
・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
・施設の出入口や天窓は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
・多発すると防除が困難になるので、つる先や葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

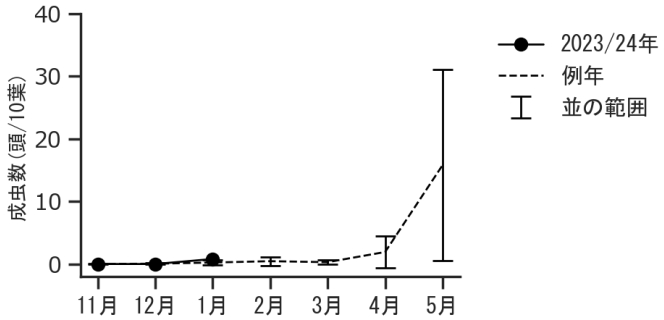
令和　5 年度　　2 月予報

| 作物 | とうがん(施設・立体栽培) | | 地域 | 宮古群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ② タバココナジラミ | | | |
| 調査結果 | 1 月の発生量（例年比） | やや多 | | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | → | | |
| | 2 月の発生量（例年比） | 並 | | |
| 予報の根拠 | | 例年の発生量の推移（→） | | |

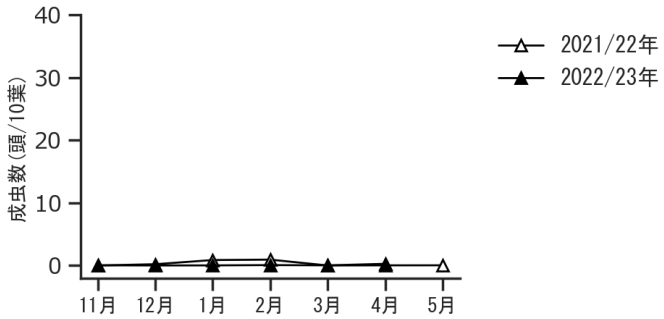
調査結果

成虫数の推移

＜今期と例年＞




＜過去２年＞




・発生施設率60.0%（例年：17.4%）

防除のポイント

・多くの雑草が発生源となりうるので、施設内外の雑草除去に努める。
・施設の出入口は目合いの細かいネット等で被覆し、成虫の侵入を防ぐ。
・黄色粘着テープ等により、早期発見・防除に努める。
・幼虫は下位葉の葉裏に多いことに留意しながら薬剤散布を行う。
・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避け、気門封鎖系等の薬剤も利用する。

幼虫

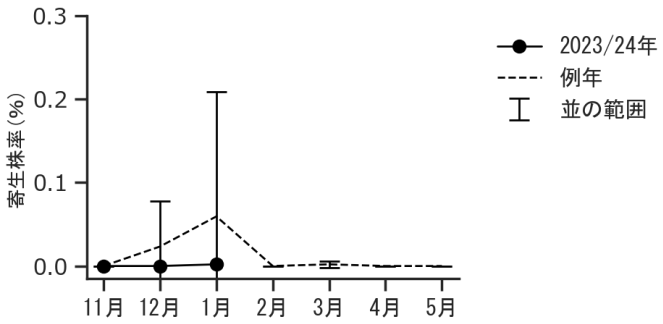
令和　5 年度　　2 月予報

| 作物 | とうがん(施設・立体栽培) | | 地域 | 宮古群島 |
|---|---|---|---|---|
| 病害虫名 | ③ ハダニ類 | | | |
| 調査結果 | 1 月の発生量（例年比） | 並 | | |
| 予報 | 1 月からの増減傾向 | ↘ | | |
| | 2 月の発生量（例年比） | 並 | | |
| 予報の根拠 | | 例年の発生量の推移（↘） | | |

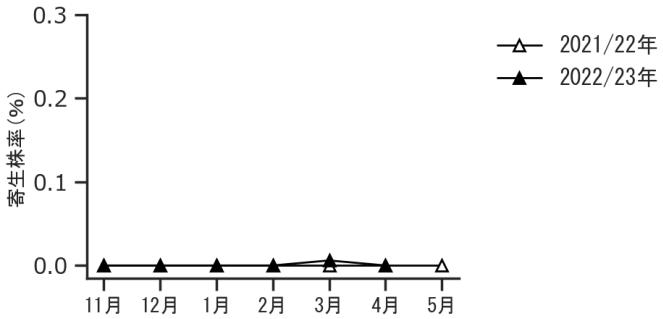
調査結果

寄生株率の推移

＜今期と例年＞




＜過去２年＞




・発生施設率20.0%（例年：4.3%）

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。